



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 塩野義製薬株式会社
 コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 京川 吉正 TEL 06-6202-2161
 四半期報告書提出予定日 2018年11月7日 配当支払開始予定日 2018年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	168,203	△2.3	57,304	2.8	70,077	6.8	57,896	15.0
2018年3月期第2四半期	172,172	11.0	55,756	25.9	65,592	55.6	50,336	61.3

（注）包括利益 2019年3月期第2四半期 65,195百万円（6.4％） 2018年3月期第2四半期 61,249百万円（702.1％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	184.28	181.64
2018年3月期第2四半期	157.90	155.42

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	745,079	649,988	86.6
2018年3月期	711,463	604,840	84.5

（参考）自己資本 2019年3月期第2四半期 645,050百万円 2018年3月期 600,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	38.00	—	44.00	82.00
2019年3月期	—	44.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	44.00	88.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	354,000	2.7	124,500	8.1	148,500	7.1	118,500	8.8	376.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	324,136,165株	2018年3月期	324,136,165株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	9,633,508株	2018年3月期	9,780,027株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	314,179,065株	2018年3月期2Q	318,791,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 添付資料 P.3「1. 経営成績等の概況（3）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

当社は、2018年10月30日（火）にアナリスト向けに説明会を開催する予定です。説明内容（音声）については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,682億3百万円、営業利益573億4百万円、経常利益700億77百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益578億96百万円となりました。

売上高につきましては、国内医療用医薬品市場において、戦略品であるサインバルタ、インチュニブ、スインプロイクは対前年で順調に売上高を拡大しましたが、クレストールとイルベタンは後発品参入の影響が大きく、国内医療用医薬品全体では、前年同期比31.7%の減収となりました。海外子会社及び輸出の売上高につきましては、米国において、オーソライズド・ジェネリックの売上減少に伴うロイヤリティー収入が減少しましたが、パデュー社とのSymproicの共同販売活動に関する業務提携の解消に伴い一時金を受領したことにより、前年同期比26.2%の増収となりました。ロイヤリティー収入につきましては、ヴィーブ社による抗HIV薬テビケイ及びトリメクのグローバル販売の順調な拡大を受け、ヴィーブ社からのロイヤリティー収入が増大するとともに、抗インフルエンザウイルス薬ゾフルーザのグローバル開発と承認申請に伴うマイルストーン収入をロシュ社より受領したことにより、前年同期比24.9%の増収となりました。

利益面では、主に前述のロイヤリティー収入の増加により、売上総利益は前年同期比8.3%増加しました。営業利益につきましては、戦略的事業投資に伴う研究開発費の増加により、販売費及び一般管理費が前年同期比12.3%の増加となりましたが、売上総利益の増加により、前年同期比2.8%の増益となりました。経常利益につきましては、ヴィーブ社からの受取配当金の増加により、前年同期比6.8%の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期比15.0%の増益となりました。なお、当第2四半期連結累計期間において、C&O社の南京工場の売却に伴う特別利益を計上しております。また、当年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震に伴う損失を特別損失に計上しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

1. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は7,450億79百万円で、前連結会計年度末と比べて336億15百万円増加しました。流動資産は、主として現金及び預金の増加により、前連結会計年度末より268億69百万円多い4,063億73百万円となりました。固定資産は、主に株価の上昇により投資有価証券が増加し、67億46百万円多い3,387億5百万円となりました。

負債合計は950億90百万円で、前連結会計年度末と比べて115億32百万円減少しました。流動負債は、前連結会計年度末より24百万円多い725億90百万円となりました。固定負債は、主に社債（転換社債型新株予約権付社債）の転換により、前連結会計年度末より115億56百万円少ない225億円となりました。

純資産合計は6,499億88百万円で、前連結会計年度末と比べて451億47百万円増加しました。株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払などの結果、前連結会計年度末より372億39百万円多い6,164億97百万円となりました。その他の包括利益累計額は、主として株価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末より69億63百万円多い285億53百万円となりました。また、新株予約権は5億27百万円、非支配株主持分は前連結会計年度末より9億43百万円増加し44億10百万円となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、681億96百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益721億72百万円、減価償却費83億12百万円、のれん償却額14億99百万円などによるキャッシュ増加、配当金収入及び法人税等の支払等で、前年同期比253億79百万円の収入増となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、主に3ヵ月を超える期日の定期預金の預入による支出により、368億99百万円の支出となりましたが、前年同期に無形固定資産の取得による支出があったため、前年同期比は、54億42百万円の支出減となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払138億15百万円及び自己株式の取得による支出226億54百万円などにより355億3百万円の支出となり、前年同期比232億32百万円の支出増となりました。

これらを合わせた当第2四半期連結累計期間の「現金及び現金同等物の増減額」は16億66百万円のキャッシュ減少となり、当第2四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、1,707億33百万円となりました。

(3) 今後の見通し

最近の業績動向を踏まえ、2018年7月23日に公表した2019年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 連結業績予想の修正

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	348,000	120,000	144,000	114,500	364.24
今回発表予想 (B)	354,000	124,500	148,500	118,500	376.79
増減額 (B-A)	6,000	4,500	4,500	4,000	—
増減率 (%)	1.7	3.8	3.1	3.5	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	344,667	115,219	138,692	108,866	342.71

2. 連結業績予想の修正理由

売上高につきましては、抗インフルエンザウイルス薬ゾフルーザの開発進捗に伴い、下期においてもロシュ社からマイルストーンを受け取る見込みであることなどから、全体の売上高も従来予想を上回る見通しです。利益面につきましては、新製品等への販売活動強化のため積極的に追加投資を予定しておりますが、前述の売上高の増加により営業利益は従来予想を上回る見通しです。また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても、営業利益の増加に伴い、それぞれ通期で従来予想より増加する見通しです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	140,106	194,400
受取手形及び売掛金	53,240	48,855
有価証券	124,300	103,712
商品及び製品	14,716	16,671
仕掛品	6,993	7,525
原材料及び貯蔵品	12,926	14,672
その他	27,257	20,571
貸倒引当金	△36	△35
流動資産合計	379,504	406,373
固定資産		
有形固定資産	75,956	73,578
無形固定資産		
のれん	32,852	32,742
その他	42,207	39,772
無形固定資産合計	75,060	72,515
投資その他の資産		
投資有価証券	155,675	166,117
その他	25,309	26,535
貸倒引当金	△42	△42
投資その他の資産合計	180,942	192,610
固定資産合計	331,959	338,705
資産合計	711,463	745,079
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,016	9,167
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	19,513	20,848
賞与引当金	8,741	7,564
返品調整引当金	1,360	1,474
その他の引当金	105	—
その他	24,829	23,535
流動負債合計	72,565	72,590
固定負債		
社債	18,491	3,173
退職給付に係る負債	8,096	7,953
その他	7,468	11,372
固定負債合計	34,056	22,500
負債合計	106,622	95,090

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,512
利益剰余金	574,392	617,597
自己株式	△36,641	△42,892
株主資本合計	579,257	616,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,856	42,012
繰延ヘッジ損益	1,174	461
為替換算調整勘定	△15,330	△14,620
退職給付に係る調整累計額	△111	699
その他の包括利益累計額合計	21,589	28,553
新株予約権	527	527
非支配株主持分	3,466	4,410
純資産合計	604,840	649,988
負債純資産合計	711,463	745,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	172,172	168,203
売上原価	39,671	24,724
売上総利益	132,500	143,478
販売費及び一般管理費	76,744	86,173
営業利益	55,756	57,304
営業外収益		
受取利息	499	1,009
受取配当金	10,867	12,150
その他	335	1,403
営業外収益合計	11,703	14,563
営業外費用		
支払利息	204	173
寄付金	425	370
固定資産除却損	235	565
その他	1,001	679
営業外費用合計	1,867	1,790
経常利益	65,592	70,077
特別利益		
固定資産売却益	—	2,920
特別利益合計	—	2,920
特別損失		
災害による損失	—	826
投資有価証券評価損	685	—
特別損失合計	685	826
税金等調整前四半期純利益	64,907	72,172
法人税、住民税及び事業税	15,930	12,801
法人税等調整額	△1,313	987
法人税等合計	14,617	13,789
四半期純利益	50,289	58,382
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△46	486
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,336	57,896

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	50,289	58,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,358	6,155
繰延ヘッジ損益	△2,327	△713
為替換算調整勘定	7,409	559
退職給付に係る調整額	1,518	810
その他の包括利益合計	10,959	6,812
四半期包括利益	61,249	65,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,365	64,860
非支配株主に係る四半期包括利益	△116	335

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	64,907	72,172
減価償却費	7,827	8,312
のれん償却額	1,521	1,499
有形固定資産処分損益(△は益)	232	△2,378
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△21
投資有価証券評価損益(△は益)	685	67
受取利息及び受取配当金	△11,367	△13,159
支払利息	204	173
為替差損益(△は益)	46	△4,266
売上債権の増減額(△は増加)	△9,985	4,410
たな卸資産の増減額(△は増加)	997	△4,108
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,118	1,051
その他	△7,548	△2,879
小計	45,402	60,873
利息及び配当金の受取額	19,547	19,517
利息の支払額	△92	△173
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△22,039	△12,021
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,817	68,196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△42,503	△69,136
定期預金の払戻による収入	17,367	36,900
有価証券の取得による支出	△5,000	△2,200
有価証券の償還による収入	—	288
有形固定資産の取得による支出	△3,533	△2,987
有形固定資産の売却による収入	84	4,231
無形固定資産の取得による支出	△10,094	△1,675
投資有価証券の取得による支出	△500	△192
投資有価証券の売却による収入	2,296	0
関係会社株式の取得による支出	△100	△1,800
その他	△359	△327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,341	△36,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△12,116	△13,815
自己株式の取得による支出	△9	△22,654
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	1,020
その他	△144	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,270	△35,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	855	2,539
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,940	△1,666
現金及び現金同等物の期首残高	149,324	172,400
現金及び現金同等物の四半期末残高	138,384	170,733

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、2018年7月30日開催の取締役会決議により取得株式数8,600,000株、総額50,000百万円を上限として2018年7月31日から2018年12月20日の期間で自己株式の取得を進めております。これにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式を3,591,600株取得し、22,608百万円増加しております。

なお、この他に転換社債型新株予約権付社債の転換等もあり、当第2四半期連結累計期間における自己株式は6,250百万円の増加となり、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は42,892百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。